

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（11月18日三和地区開催分）

- 日 時 令和3年11月18日（木）午後7時～8時30分
- 会 場 三和交流センター
- 出席者 17人（参加市民）
- 内 容
- 【質問・意見・提案等】
- ⇒【回答】

□高齢者・身体の不自由な方にとって、美濃太田駅の北側から線路を超えて駅南に歩いて行くことは厳しい。線路をまたぐような道路の整備計画はあるか。
⇒美濃太田駅の北側には、北部からの来庁に備えて、現在のシティホテル駐車場を活用して来庁者用駐車場を整備する。南北をまたぐ新たな道路整備は費用面等からも難しいが、駅の南側では新庁舎にアクセスしやすいように道路体系を整備していきたい。

□駅前道路の広さはこれまでどおりか。
⇒現状の車道の道路幅は13m。歩行者優先道路を検討している道路の幅は18mであり、規制をかけていく予定。新しく整備する道路は9m程度の幅員を考えている。現在の市商業ビル（シティホテル美濃加茂）北側と駅間の道路幅は12mである。周回する道路は普通車が十分すれ違える幅員を確保したい。全体的な道路整備、規格の中で警察等関係機関とも協議しながら進めていく。

□分庁舎は借地であれば新庁舎に組み込んだ方が良いのではないか。
⇒分庁舎は市有地にある。新庁舎は分庁舎を活用することで極力コンパクトにしたい。分庁舎は長寿命化計画に基づき今後15年程度は使用していきたい。住民票等がコンビニ等で取得できるようになったように、その間に行政サービスも変わり、場合によっては来庁者や職員ともに減少する可能性もある。将来的なサービスの変化や職員数を考慮しながら効率的に行政機能の確保を進めることで、事業費を抑えていきたい。

□分庁舎の安全性はどうか。
⇒分庁舎は平成2年に建設されており、30年程経過している。長寿命化計画に基づき少しでも長く使用できるように改修工事を行っていく。

□駅周辺の来庁者用の駐車スペースはどのくらいか。
⇒市商業ビル南側の民間の土地を取得し、現在のシティホテル美濃加茂の駐車

場と合わせて 100 台程度確保したいと考えている。現在の来庁者の駐車台数の瞬間 50 台程度と推計している。生涯学習センターの駐車場と共用していることで、駐車場の混雑によりご迷惑をおかけしている。余裕をもって 100 台程度確保していきたい。

□市役所関係の駐車場だけを考えているようだが。

⇒駅南のまちづくり全体の考え方のなか、再開発事業として立体駐車場(居住者・来訪者用)が計画されている。

□現在は道路が整備されていなくて、不便である。建物だけできて、道路ができなかったということがないようにしてほしい。長井市も駅前での新庁舎の計画があるが 300 台駐車場を設ける。日常使用する駐車場に加え、にぎわいを求めて人が集まることを考えると駐車場が小さすぎるのではないか。1つの案だが、ロータリーをうまく活用し、再計画をしてはどうか。新庁舎を西向きではなく、横長にして南向きにし、2階ペデストリアンデッキをにぎわいの広場として色々なところにつなげてはどうか。西向きの建物は電気代、空調費等維持費がすごくかかる。駅南に建てるのであれば道路と建物の向きを再検討し、ペデストリアンデッキを作るよりも2階ベランダを広くとり、下はロータリーで、上は公園スペースにして全部つなげてしまうというのはどうか。駅と一体化した庁舎を建設した市もある。全国の事例を参考にしてほしい。

また、駅南では将来的に建て替える場所がない。将来的なことや安全性を考えても一段上がった北の方に建設してほしい。分庁舎は本来新庁舎ができるまで使用する目的であった。長寿命化すべき建物ではない。新庁舎の計画に組み込んでほしい。

⇒美濃太田駅周辺整備の将来像として、特に食と健康にこだわったまちづくりを進めていきたい。今後は特に、将来を担う若い方たちが実際に何を求めているのかを聞いていきたい。道路体系などもしっかりと決めて、新庁舎をつくってほしい。

⇒道路整備の計画は市街地再開発事業と合わせて行うものと、都市計画道路として市が整備するものがある。新庁舎の整備スケジュールは位置が決まってから6年ほどかかり、市街地再開発事業は準備組合が立ち上がり、組合として成立すれば比較的早期に面整備が進んでいくと思われる。道路整備も同タイミングとはいかないかもしれないが、数年の差で整備できるのではないか。ロータリーは当初活用できるよう検討していたが、現在は難しいと考えている。庁舎を西向きになど、いただいたご意見を実施計画や基本設計に反映できるようにしてほしい。

□市の商業ビル維持に今後 30 年間でおよそ 30 億円かかるということは 1 年間で 1 億円かかるという単純計算だが、どのように使われるか明示されていない。具体的な金額を教えてください。

また、市商業ビルに入居しているテナントなどへの補償はどの程度と金額と考えているか。

⇒市商業ビルの維持管理費用、今後 30 年間でおよそ 30 億円という金額は、市商業ビルを仮に今後 30 年存続させた場合、必要となる内装や外装、電気設備、空調等の設備の整備費用、施設整備費のみを計上している。30 年継続するとなれば、その運営費もプラスした金額が必要となる。

市商業ビルの関係者への補償は、法的な視点を踏まえて調査研究を進めており、今回の資料では経済性、用地購入費に概算金額を計上している。

□駅北に庁舎をつくり、市商業ビルも解体してはどうか。そうすれば維持費の約 30 億円は不要になる。維持費の 10 分の 1 の解体費用だけで済む。

また、職員駐車場はどこに確保するのか。

⇒新庁舎の上階に商業ビルのコンベンション機能を整備し、商業ビルの機能の一部を継続していきたい。この機能は市だけでなく中濃圏域を含め多くの方が利用しており、観光・交流の発展に為、必要な機能と判断している。商業的機能も庁舎の 1 階等に整備したいと考えている。駅北に庁舎をつくり、商業ビルを解体する選択肢もあるが、美濃加茂市の玄関口で顔となる美濃太田駅前の立地条件を地域の活力、まちのにぎわいとして活かしていくべきと考えている。

職員駐車場については、現在も民間の駐車場を借用している。駅南に移転した場合も同じ駐車場を使用する予定である。

□仮ではあるが、地域協働センターの名称を再考してほしい。

健康自然ラインについて、健康の森から伸ばして三和の御殿山キャンプ場も含めてもらえないか検討してほしい。

⇒名称については皆さんと相談して的確な名前にしていきたい。それぞれの地域課題を解決するという思いを込めた仮称である。

健康自然ラインは例として挙げているが、自然を活かせるルートを今後皆さんと検討していきたい。